

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/05

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.32	-0.25
JPY/THB	0.2411	0.0028
USD/JPY	146.53	-2.83
EUR/THB	38.54	0.15
EUR/USD	1.0911	0.0120
USD/CNH	7.164	-0.087
SGD/THB	26.62	-0.01
AUD/THB	22.99	-0.14
USD/INR	83.75	0.02
USD Index	103.21	-1.21

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.296	-0.021
10Y (THB)	2.559	-0.020
5Y (USD)	3.617	-0.217
10Y (USD)	3.790	-0.186

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,425.7	-9.3
WTI (Oil)	73.52	-2.79
Copper	9,055.5	3.0

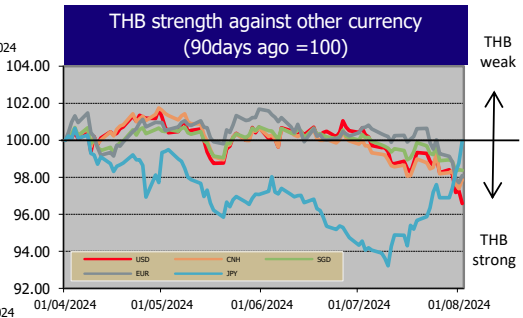
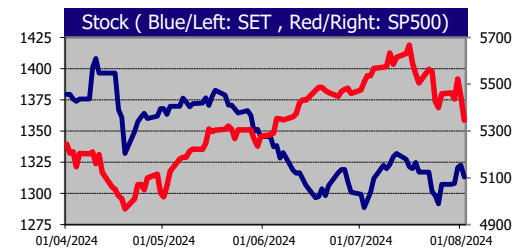
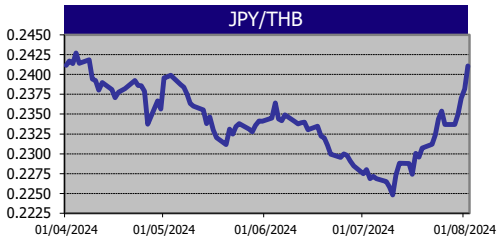
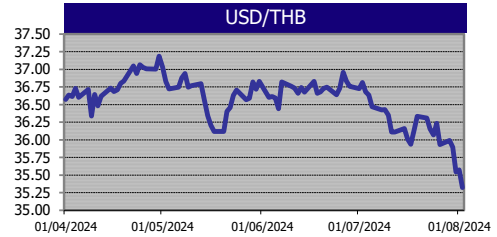
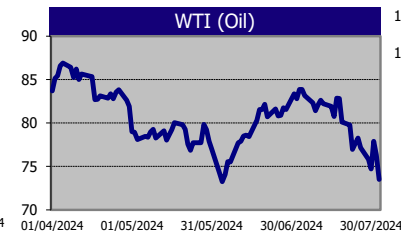
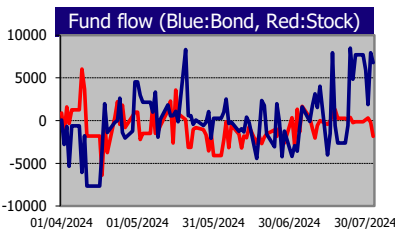
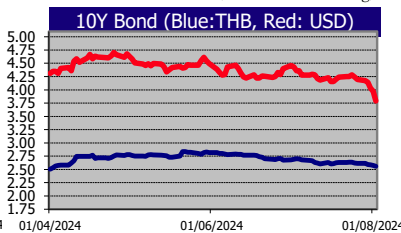
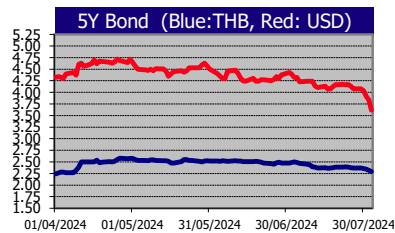
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,313.08	-9.67
NIKKEI (JP)	35,909.70	-2216.63
DOW (US)	39,737.26	-610.71
S&P500 (US)	5,346.56	-100.12
SHCOMP (CN)	2,905.34	-27.05
DAX(GER)	17,661.22	-421.83

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,843)	-1636.1
Bond net flow	6,794	-1163.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・先週金曜日(2日)のドルパーツは下落。35パーツ台半ば付近の水準で取引を開始。引き続きアジア通貨は全般的に対ドルで堅調な推移を見せる中で、ドルパーツも上値重く推移。海外時間、注目の米7月雇用統計は、非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことに加え、失業率も市場予想以上に悪化する結果となり、ドルパーツは35パーツ台前半まで下げ幅を拡大させた。ただ、週末を控える中で、同水準では反発を見せ、35.32レベルで引けた。

●ドル円その他

・先週金曜日(2日)のドル円は下落。149円台前半の水準で取引を開始したドル円は、引き続き上値の重い推移となる中で、一時買い戻しの動きも見られ、149円台半ば付近の水準まで上昇する場面を見せるも、勢いは限定的。日経平均株価が大幅に下落する動きを跳めながら上値の重い推移となった。海外時間に入り、米7月雇用統計の結果が総じて軟調なものであることが確認されると、ドル円は146円台半ばの水準まで下落。終盤にかけても同水準での推移が続き、そのまま146.53レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日(2日)に発表された米7月雇用統計では、非農業部門雇用者数の前月からの伸びは11万4000人に留まり(市場予想17万5千人)、過去分についても6月分が20万6000人から17万9000人(▲2万7000人)、5月分が21万8000人から21万6000人(▲2000人)と、いずれも下方修正される結果となった。弱い結果となった今回の雇用統計であるが、とりわけ失業率が4.3%(市場予想:4.1%)と4カ月連続での上昇となったことが注目を集めており、米景気について、市場ではソフトランディングというより、もはや景気後退局面に入ったのでは、という見方も台頭している。かかる状況下、直近の日銀会合、FOMCの結果を受けた動きも相俟って米長期金利、日米株価の大幅下落、ドル安といった格好で市場は荒れた様相を呈している。特にドル円の大きな下落は注目を集めており、今朝方は145円台前半を示現し、年初1月以来の水準を付けているが、ドルパーツも下落を見せており、先週金曜日には35パーツ台前半とドル円同様、年初1月以来の水準まで下落している。今月は主要中銀の金融政策会合が予定されていない中、タイ中銀は21日に開催を予定している。足もとの動きをどのように見ているか、内容次第ではさらなるパーツのボラティリティ拡大をもたらす可能性も想定され、注目度はますます高まりそうだ。(末廣)